

「桃の花咲くひな祭り～繋がる笑顔～」 のボランティアに参加して

3月3日(木)、桃山台にある施設で「桃の花咲くひな祭り～繋がる笑顔～」と題されたおひな祭りイベントが開催され、ナルクわかばの会から10名がボランティアとして参加しました。



9時30分の集合時間に施設の玄関に行くと、立派な五段飾りのお雛さまに迎えられました。配られたボランティアに対する説明資料にはイベントのスケジュールや各コーナーの配置、各担当者の名前等が記されていました。記念撮影写真コーナーを始め、ゲームコーナー、作品作成コーナー、ティーコーナー、軽食コーナー

等があり、簡単な説明を受けた後、各コーナーごとに分かれ、それぞれの配置場所に移動しました。私は軽食コーナーの綿菓子作りの担当でした。初めての事で戸惑いしましたが、慣れた頃に終わり、残念。でも楽しい一日でした。

その他の催物としては大正琴の演奏、日本舞踊、コーラス等も有り盛況の中3時過ぎまで続きました。入居者の家族の方も一緒に楽しんで居られました。とても賑やかで、職員の方の華やかな着物姿も印象的でした。ご協力頂いたわかばの会会員の方、3時30分の終了まで丸一日、本当に有難うございました。(荒尾桂子)

≡ 豊中ボランティア・フェスティバルに参加 ≡

3月5日(土)10時から豊中市すこやかプラザで豊中ボランティア・フェスティバルが開催されました。1階多目的室でステージ発表が行われ、11の団体から合唱、手品、歌体操などのステージ発表がありました。ナルクわかばの会から、大井代表、河原さん、上田さんの3人の方が出演されて、河内音頭など民謡を3曲披露されて大変好評でした。

また、ステージ発表の舞台準備担当として石井さんと岡田さんに開会から閉会まで活躍して頂きました。



ステージ発表後、講演「東日本大震災から5年」というテーマで、講師として陸前高田市副市長久保田崇様からお話をして頂きました。お話の中で特に印象に残った内容として、津波の高さが10mを超え予想を上回り、市の職員が117人も亡くなった事と、仮設住宅入居が5年経過しても1300世帯(60%)が入居中という事です。復興するためにはまだ相当の年月がかかるようです。

その後、お楽しみ抽選会があり終了しました。展示コーナーにはナルクわかばの会の活動と、ナルク入会のご案内などのPRパネルを掲示しました。今後、地域のイベントに参加して、活動の幅が広がって、会員の拡大が出来るように進めて行きます。会員の皆様のご支援、ご協力をよろしく願います。(清水正弘)